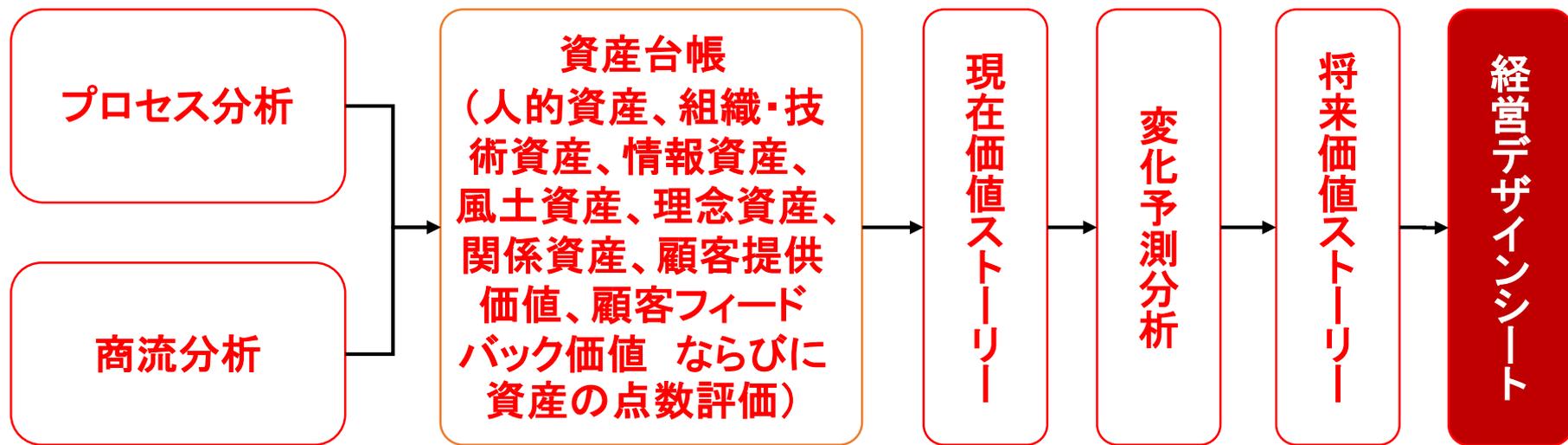


金融機関が事業者に寄り添う支援の一環として実施、そのサポート

見えざる資産を整理した知的資産経営報告書の作成に準拠し、外部発信と、社内周知を目的に活用。金融機関にとっては企業の事業性の理解を行い、今後必要とされる支援策の立案に活用した。



知的資産経営マネジメントツールである「ええとこ活用経営®」を使い、事業内容の見える化を行った。

プロセス分析や商流分析では、知的資産を生み出して根源を洗い出すことで、経営陣が気づかなかった自社の「ええとこ」を見える化した。そのあと、経営環境予測を踏まえ将来ビジョンの構築を行い、取り組みの内容を経営デザインシートに整理した。

自社の価値を整理して将来ビジョンを明確にするため

知的資産経営報告書とともに作成し、外部発信を行い、自社のアピールに活用した。また、社内に周知することで組織の活性化にかつようした

尼崎信用金庫の推薦で知的資産の洗い出しを行い、現在の価値を踏まえて将来価値を明確にした。

手順

1. 現在価値の洗い出し
2. 価値の組合せ（ストーリー）を顧客提供価値に向かって描くことで現状の姿を映し出す
3. 環境変化を踏まえて、将来の方向性を検討
4. 将来ビジョンを実現するための価値を明確にして具体的な活動に落とし込み



尼崎信用金庫の知的資産経営セミナーのあとのハンズオン支援で実施
尼崎信用金庫、織田様（有）ツトム経営研究所、森下様からのサポート

経営デザインシートを活用した感想・効果

- 今まで見えなかった資産の見える化が行え、将来ビジョンの構築に正確度が増した
- 従来とは異なった業界にアプローチを掛けようと考えているが、資産を整理することで新しい業界に取り掛かるきっかけを得ることができた。